

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	37635
事業名	介護人材確保促進費					
評価担当課	所属名	保)高齢保健福 介護保険課				
	課長名	池田	担当者名	西田	電話番号	011-211-2972
施策名	主	地域に密着した保健福祉サービスを提供する環境づくり				
	副					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外		
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	介護事業所が安定した雇用の確保を可能とするスキルを身に付けるとともに、労働環境の改善・キャリアパスの構築を図り職員の定着に努める。また、介護職のイメージを向上させ、就職希望者を増加させる。 【AP2019事業目標】事業に参加した事業者のうち希望どおりに採用できた事業者の割合・・・35%			
		長期	大幅な不足が見込まれている介護人材の量を将来にわたって確保する。			
	取組内容	【目的】介護事業者が求める人材を適切に確保できるよう、採用力向上セミナーと実践の場として合同企業説明会を開催する。また、将来的な人材確保につなげるため若年層に対する啓発や、人材の定着促進のためキャリアパス制度導入支援等を実施する。 【内容】①介護事業者向け採用力向上セミナー及び合同企業説明会の開催 ②若年層向け介護職啓発用冊子の配布及び中学・高校等への出張講座 ③介護職員等に向けた各種研修 ④キャリアパス制度の導入支援 ⑤介護職啓発動画の作成				
実施結果	①介護事業者向け採用力向上セミナーには43事業者が参加。合同企業説明会は新型コロナウイルス感染予防のためオンラインで実施し、39事業者が参加。②市内全ての中学及び高校各1年生全員(約3万人)に啓発用冊子を配布。出張講座を1回実施し、24人が参加。高校生の職場体験は新型コロナウイルス感染予防のため開催中止。③介護職員等に向けた研修を11回開催し、290人が受講。④専門家の訪問相談を実施。相談事業所総数は17事業所。延べ相談時間は70時間。⑤介護職啓発動画「さっぽろ介護のおしごと」を作成し、啓発事業への活用を見据えDVD化した。					
事業実施における工夫点	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、採用力向上セミナー及び介護職員等に向けた研修を全てオンライン開催としている。					
対象者	札幌市内の介護保険事業所、市民	開始	平成27年度	終了	0年度	
関連法令・条例・要綱等						
他都市の状況	多くの他市町村で人材確保のためのセミナー及び合同企業説明会を実施・委託している。					

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	7,174	11,000	10,371	12,000	
うち特定財源	0	0	0	0	
人工	0.2	0.2	0.2	0.2	
人件費	1,440	1,440	1,440	1,440	
計(事業費+人件費)	8,614	12,440	11,811	13,440	
事業費の内訳	令和3年度決算	①採用力向上セミナー及び合同就職相談説明会 3,309千円 ②啓発用冊子運搬増刷、出張講座講師謝礼 563千円 ③介護人材定着化研修 2,835千円 ④キャリアパス制度導入支援事業 1,078千円 ⑤啓発動画作成 2,586千円			
	令和4年度予算	①採用力向上セミナー及び合同就職相談説明会 5,605千円 ②啓発用冊子運搬増刷・動画の配布及び出張講座講師謝礼 1,073千円 ③介護人材定着化研修 2,972千円 ④キャリアパス制度の導入支援 1,100千円 ⑤小学生向け介護職啓発の冊子データ作成 821千円 端数処理 +429千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1		指標名	事業に参加した事業者のうち希望通りに採用できた事業者の割合			
		令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
		-	35%	40%	35%	
活動指標2		指標名				
		令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
成果指標1		指標名				
		令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
成果指標2		指標名				
		令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由				
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	設定した活動指標を達成することができた。				
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	B	セミナー参加事業者は定員に達しており、事業規模は適切である。オンライン合同企業説明会の参加事業者は概ね定員に達しており、事業規模は適切と判断できる。中学生・高校生への啓発については、新1年生に対し啓発用冊子の配布完了、出張講座は1回実施することができ、事業規模適切である。キャリアパス制度導入支援事業は相談時間の上限に達しており、規模適切である。介護人材定着化研修は、研修メニューによって受講者数にバラつきがあり、規模や開催方法の一部見直しが必要である。				
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	目的達成のためセミナー及び合同企業説明会は、感染症予防に資するオンライン方式とし、セミナー参加者が合同企業説明会に参加できる仕組みとすることで、セミナーで学んだことを効果的・効率的に実践することができた。介護人材定着化研修についても、感染症予防に資するオンライン方式とすることで、令和2年度と比較してより多くの参加者を呼び込むことができ、実施手法は適切と判断できる。出張講座は札幌市老人福祉施設協議会を經由し学校の希望に合った講師を選出しており、効率的かつ満足度の高い内容で実施できていることから、実施手法は適切である。				
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	セミナー受講者アンケートによるとセミナー内容が「満足」と回答した割合が9割以上に達しており、ニーズに十分応えている。出張講座の受講者アンケートによると、約8割の生徒が講座を聞いて介護のイメージが「よくなった」と回答しており、満足してもらったといえる。介護人材定着化研修については研修内容が「実践で活用できる」若しくは「やや活用できる」と回答した割合が9割以上であり、ニーズに十分応えている。				
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input checked="" type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応 <input type="checkbox"/> 回答 <input checked="" type="checkbox"/> 反映			
今後の改善点	介護人材定着化研修についてはアンケート結果等を踏まえて更に介護職員等のニーズに応えられる内容を検討する。また、研修によっては参加者が半数に満たないものもあったため、内容の見直しや研修の統合等を検討する。加えて、より多くの事業者が受講できるよう、ライブ形式だけでなく録画形式での開催も検討したい。					
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし					
今年度取り組んだ見直し内容	介護人材定着化研修について、メニューの統合及び定員数を変更した。			見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし					
評価の理由	合同就職相談説明会について、参加事業者の採用概要やPRを録画配信するオンライン形式とすることで、感染症予防に資する形で開催することができた。また、介護人材定着化研修もオンラインで実施するとともに、メニューの見直しなどを行うことで、昨年よりも総じて受講者数が増加している。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 既存の採用力向上セミナー・合同就職相談説明会を開催しつつ、合同就職相談説明会開催に併せて求職者向け就職支援セミナーを開催するなどの工夫を行い、介護人材の確保・定着に努めていく。				
	予算	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 事業の各内訳ごとに内容の検証・見直しを行い、要求総額としては現状維持とする。			見直し効果額	0